埼 玉 県 地 震 概 況(2023年10月)

熊谷地方気象台 2023年11月17日

(ここに掲載する震源要素は暫定値であり、後日修正されることがあります。)

◇10月の地震概況

埼玉県内で震度1以上を観測した地震は6回でした。

1. 埼玉県内で震度1以上を観測した地震(2023年10月1日~2023年10月31日)

No.	地震の発生日時	震央地名	緯度	経度	深さ	規模	国内 最大震度	県内 最大震度
1	2023/10/01 19:37	茨城県南部	36° 06.8′ N	139° 52.3′ E	48 km	M3.3	1	1
2	2023/10/02 22:26	栃木県南部	36° 42.6′ N	139° 52.0′ E	125 km	M4.2	2	1
3	2023/10/08 19:49	千葉県北西部	35° 42.7′ N	140° 06.5′ E	69 km	M3.5	1	1
4	2023/10/20 17:01	埼玉県北部	36° 15.5′ N	139° 13.6′ E	18 km	M2.7	1	1
5	2023/10/24 21:29	神奈川県西部	35° 22.6′ N	139° 02.4′ E	167 km	M4.2	2	1
6	2023/10/28 01:28	茨城県北部	36° 22.5′ N	140° 12.2′ E	104 km	M3.7	2	1

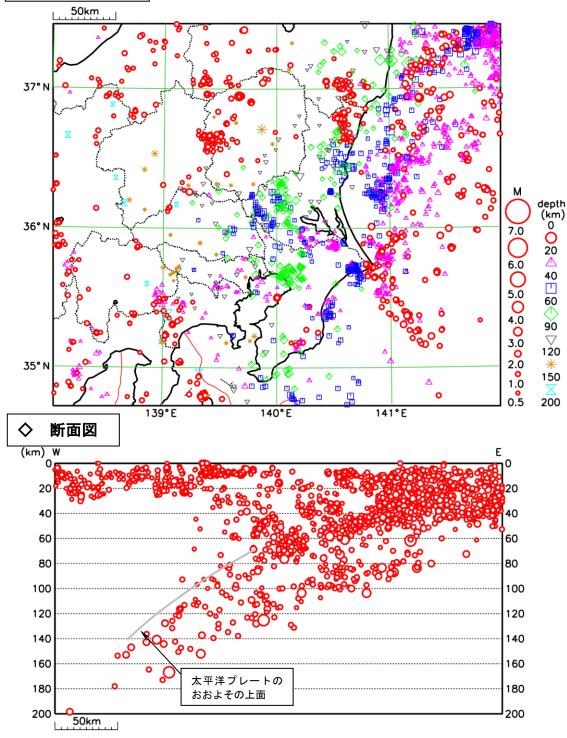
※震度分布図や観測点の表などの詳細は「震度データベース検索」をご参照ください。 (https://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.html)

2. 埼玉県内で震度3以上を観測した地震(2023年10月1日~2023年10月31日)

この期間、埼玉県内で震度3以上を観測した地震はありませんでした。

3. 震央分布図及び断面図 (2023年10月1日~2023年10月31日)

◇ 震央分布図



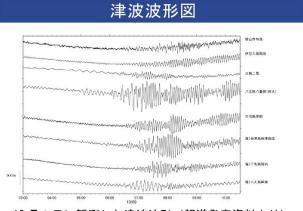
- ・Mはマグニチュードで 0.5 以上、深さは 200km までの地震を示しています。
- ・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。
- また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、2022 年能登半島における合同地 震観測グループによるオンライン臨時観測点(よしが浦温泉、飯田小学校)、米国大学間地震学研究連合(IRIS) の 観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。
- ・本資料中で使用している地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図25000(行政界・海岸線)』 を使用しています。

【防災一口メモ】

大きな揺れを伴わずに発生する津波について



10 月 9 日に発表した津波注意報・津波予報 ■津波注意報 ■津波予報(若干の海面変動)



10月9日に観測した津波波形(報道発表資料より)

10月9日に、伊豆諸島、小笠原諸島及び千葉県から沖縄県にかけての太平洋沿岸で津波が発生しました。このときは、一般的に津波を発生させる規模の地震は発生していませんが、鳥島近海で発生したとみられる音波が水中を伝わり地震計で多数捉えられたため、潮位監視を強化していたところ八丈島で津波を観測したことから直ちに津波注意報を発表しました。

気象庁は、津波による被害が発生する恐れがあることをいち早くお知らせするため、津波警報・注意報を発表します。通常は発生した地震の震源や規模の推定を直ちに行い、推定された震源や規模(マグニチュード)をもとにデータベースを用いて沿岸で予想される津波の最大波の高さを求める、という作業を行っています。

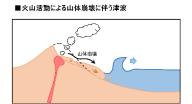
ですが、10月9日に発生した津波のように発生メカニズム等が明らかではなく津波の予測ができない状況でも<u>津波を観測しその状況により津波警報・注意報を発表する</u>場合もあります。さらに津波警報・注意報の対象予報区を追加するなど内容を随時切替えるため発表回数が多くなりますので、常に最新の情報を確認するよう留意が必要です。

それでも私たちのとるべき行動は変わりま

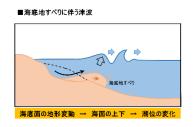
せん。海岸付近で揺れを感じたり、<u>揺れが無くとも津波警報・注意報が発表されたことを覚知したら速やかに避難することが大切です。発表する警報や注意報に応じて想定される被害ととるべき行動については次ページの表のとおりです。</u>

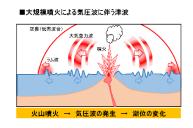
〇参考:火山現象等に伴って発生する津波

地震以外に火山現象によって発生する津波が知られています。こういった現象が本邦から離れた地域で発生した場合、津波が沿岸に到達する前に予想して津波警報等を発表することは極めて困難となります。下の図は現象ごとの津波発生イメージです(図は気象庁ホームページより引用)。



火山噴火 → 山体の崩壊 → 潮位の変化





以下、火山現象等に伴い津波が発生した事例です。特に 2022 年のフンガ・トンガーフンガ・ハアパイ火山は昨年発生した事例ですので、ご記憶に残っているかたも多いかと思います。

- 火山の山体崩壊や地形変化等に伴う津波
 - (1792 年雲仙岳眉山「島原大変肥後迷惑」、1741 年渡島大島)
- ・海底噴火等に伴う津波
 - (2021年福徳岡ノ場、1952年明神礁)
- ・海外火山噴火の気圧波に伴う津波
 - (2022 年フンガ・トンガ-フンガ・ハアパイ、1883 年クラカタウ)

表:津波警報・注意報の種類

衣:洋波言報・注息報の種類								
7.5	種類		発表される津波の	想定される被害と				
種		発表基準	数値での発表 (予想される津波の高さ 区分)	巨大地震の 場合の発表	取るべき行動			
	大津波警報	予想される津波の最大波 の高さが高いところで3 mを超える場合。	10m超 (10m<予想される津波 の最大波の高さ)		巨大な津波が襲い、木造家屋が			
大津派			10m (5m<予想される津波の 最大波の高さ≦10m)	巨大	全壊・流失し、人は津波による 流れに巻き込まれます。 沿岸部や川沿いにいる人は、た だちに高台や避難ビルなど安全 な場所へ避難してください。			
			5 m (3m<予想される津波の 最大波の高さ≦5m)					
津波	誉報	予想される津波の最大波 の高さが高いところで1 mを超え、3m以下の場 合。	3 m (1m<予想される津波の 最大波の高さ≦3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。 沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。			
津波法	注意報	予想される津波の最大波の高さが高いところでの.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合。	1 m (0.2m≦予想される津波 の最大波の高さ≦1m)	(表記しな い)	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。 海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。			

表:津波予報(若干の海面変動)の発表タイミングと内容

発表される場合	内容
0.2m未満の海面変動が 予想されたとき	高いところでも 0.2m未満の海面変動のため被害の心配はなく、特段の防災対応の必要がない旨を発表します。
津波注意報解除後も海面 変動が継続するとき	津波に伴う海面変動が観測されており、今後も継続する可能性が高いため、海に入って の作業や釣り、海水浴などに際しては十分な留意が必要である旨を発表します。

○参考となる気象庁ホームページについて

「津波警報・注意報、津波情報、津波予報について」

https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/joho/tsunamiinfo.html

「地震や火山現象等に伴い発生する津波」

https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/tsunami/various_causes.html